

情勢報告（平成 2 5 年 6 月分）

須崎農業振興センター農業改良普及課

第 1 回須崎農業振興センター農業改良普及推進協議会



平成 25 年度第 1 回普及推進協議会を 5 月 28 日に須崎市で開催しました。

会では、第 2 期産業振興計画に基づく平成 25 年度普及指導計画における総合課題の 3 課題について 14 名の協議会委員に意見を頂いた後、「まとまりのある園芸産地総合対策」など、25 年度に計画している 4 つの具体的な取り組みについて情報交換を行いました。

委員からは、「経営不振に陥った農家への支援はどのような状況か」「集落営農を推進したい地区がある」などの質問や情報の提供があり、活発な意見交換と課題の共有ができました。

米作りを通して大学生と交流

～大野見産米エコ研究会田植え体験～



6 月 2 日、高知県立大学健康栄養学部の学生 8 名と教員 2 名が参加し、大野見産米エコ研究会の水田で田植え体験が行われました。

大学生は、手植えと田植機による田植え作業を体験し、圃場に立てる看板を作成しました。また、昼食には大野見米のおにぎりを味わいました。

大学生からは「田植機に乗れて楽しかった。」「農家の人はこれが毎日続くと大変だと思う。」などの感想が寄せられました。大野見産米エコ研究会では今後も、収穫や料理実習などの交流を予定しています。

須崎農業振興センターでは今後も大野見産米エコ研究会の活動を支援していきます。

J A 土佐くろしお雨よけシントウ現地検討会



5 月 29 日に J A 土佐くろしお雨よけシントウ部会の現地検討会が、上ノ加江地区、須崎地区、葉山地区の 3 ヶ所で開催されました。暑い日でしたが、22 名の方々が参加され、栽培技術について検討を行いました。

振興センターからは、今年の気象状況や、収穫初期の整枝・誘引、今後の管理等について説明しました。中でも、整枝・誘引については実演も交えながら、主枝の摘心や側枝の「ため」について生産者の方々、J A、振興センターそれぞれから意見を出し合い、より良い樹姿になるよう活発な検討が行われました。

振興センターでは、今後も J A と協力し、生産者の技術向上の支援を行っていきます。

J A 土佐くろしおハウスインゲン土壤消毒勉強会



J A 土佐くろしおハウスインゲン土壤消毒勉強会が 6 月 19 日に久礼地区、上ノ加江地区の生産者を対象に久礼婦人の家会議室で開催され、15 名の生産者の参加がありました。今作に根腐病の発生が見られたことから、次作に向けて、土壤消毒方法について勉強会を行ったものです。

会では、土壤消毒を実施している生産者からのアドバイスや、情報交換が活発に行われ、暑い時期の作業となる土壤消毒にはこれまで後ろ向きだった方々も、土壤消毒を行うことに前向きに検討していただきました。

振興センターでは、今後も J A と協力し、生産者の技術改善の支援を行っていきます。

新規就農研修生の就農計画作成支援



J A土佐くろしお管内で、新規就農に向けた農家研修を受けている研修生2名のうち、1名の就農計画作成の取り組みが始まり、6月19日に関係機関が集まって、計画作成への支援を行いました。

振興センターからは担い手担当と技術担当が参加し、J A職員と指導農家とともに、営農開始後の経営収支について、具体的な数字をもとに内容の確認を行いました。

今後は、就農計画の仕上げに向けた支援を行うとともに、もう1名の研修生についても、就農計画の作成に向けた同様の支援を年度内に行う予定です。

平成25年度J A土佐くろしお管内農業振興連絡協議会（第1回）



6月10日に、J A土佐くろしお販売課会議室において、J A土佐くろしお管内農業振興連絡協議会の第1回委員会を開催しました。

会では、各プロジェクトチーム（地域振興戦略、品目別戦略、販売戦略）の今年度の計画が了承されました。

また、情報交換では、市町やJ Aの鳥獣被害対策として、須崎市から立目地区での事業への取り組み、J Aから被害対策試験として電気柵の設置等の報告が行われました。振興センターからは、南海地震対策の農業用燃料タンク対策、スーパー施設園芸団地の整備等の情報共有を行いました。

今後とも、各機関が連携して産地振興に取り組んでいきます。

野生鳥獣に強い集落づくり事業の集落全体会



6月18日に、須崎市浦の内立目地区で野生鳥獣害に強い集落づくり事業の第1回集落全体会が開催されました。会には、果樹栽培農家を中心とした14名の住民と、鳥獣害対策課および須崎市管内の関係機関の担当が出席しました。

まず、鳥獣害対策課から、事業の概要説明があり、被害状況の確認、今後のスケジュール等について話し合いました。出席した住民からはイノシシやカラスの被害状況説明や熱心な意見、今後の要望等が出され、2回目の会を8月の早い時期に開催することになりました。

振興センターは、市役所、鳥獣被害対策専門員とともに地区の鳥獣被害対策を支援して行きます。